



F I B E R

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

繊維学会誌

||| 繊維と工業 ||| Reviews and News

特集〈リハビリテーションを支える繊維1〉

||| 報 文 ||| Original Articles





Tifone
インクジェット専用クロス

国内シェア No.1 の
インクジェット印刷用クロス





炭素繊維強化複合材料

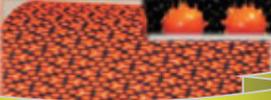
従来の 2 分の 1 以下の厚さで均一な強度の
高品質炭素繊維の薄層シート
特性を生かし、航空機や自動車用途へ展開




私たちは、
幅広い分野で
テキスタイル加工に
チャレンジし続けます。

Petit・Grip

滑り止め効果を発揮する
シリコン3Dコーティング

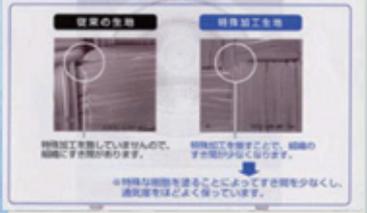



第 59 回工夫考案懸賞
知事賞受賞

ECO COATING

SPECIAL TECHNIQUE 生地表面に特殊加工を施すことで、ダウンの噴出、通気性の問題を解決しました。

特別な樹脂を1ミクロン以下の厚さで塗る加工を施しています。
※37°C(100°F)以上、湿度70%以上の環境でのみ効果的です。

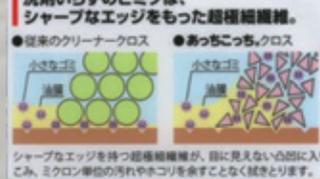



Ag抗菌加工 シルバープラス®

銀をミツヤ独自の特殊染色後加工技術で
繊維内部まで拡散吸着。
優れた抗菌性、制菌効果、洗濯耐久性

洗剤いらすのヒミツは、
シャープなエッジをもった超極細繊維。

●従来のクリーナークロス ●あっちこっちクロス




株式会社 ミツヤ

住所：〒910-0108 福井市山室町 69-1

TEL:0776-55-1055(代)

FAX:0776-55-1620

URL:http://www.e-mitsuya.jp

E-mail:mitsuya@e-mitsuya.jp

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

世界のニーズへ… 未来のニーズに…

私たちは、高機能繊維の
リーディングカンパニーとして
多様化するニーズに対応すべく
新しい製造・加工技術と
高機能素材を組み合わせ
新しい価値を創造します。

Technora®

パラ系アラミド繊維「テクノーラ®」

高強力を有し、耐薬品性、耐熱性、耐疲労性にも優れる。
ベルト、ホースなどのゴム補強や樹脂補強、コンクリート補強に使用。

Twaron®

パラ系アラミド繊維「トワロン®」

高強力、高弾性率、寸法安定性、耐衝撃性などの優れた特性を有する。
アスベスト代替素材としてのブレーキパッドやガスケット、防護手袋などに使用。

Teijinconex®

メタ系アラミド繊維「コーネックス®」

長期耐熱性、難燃性、耐薬品性に優れる。耐熱フィルターをはじめとする産業資材や消防服などに使用。

SOLOTEX®

「ソロテックス®」

SOLOTEX®はポリトリメチレンテレフタレート (PTT) 繊維です。
パネのような分子構造によって、ポリエステルとナイロンの良さを持ち、ストレッチ性、柔らかな風合いで、天然繊維や化繊との複合がしやすい素材です。

BELL OASIS®

「ベルオアシス®」

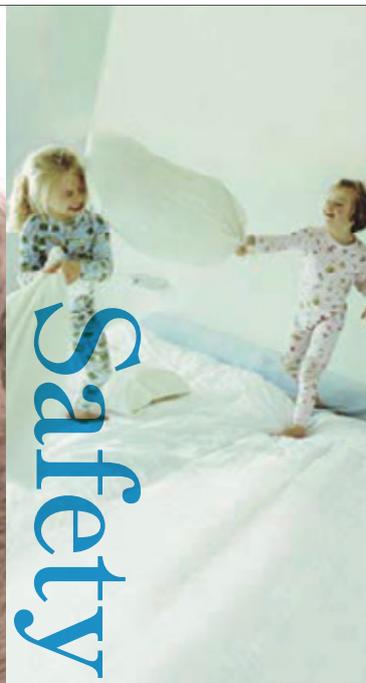
吸水性能は自重の80倍、吸湿性能としては150%を有し、その他にも難燃性能、消臭性能を持つ画期的な高吸水・高吸湿繊維です。

NANOFRONT®

「ナノフロント®」

世界初、直径700ナノメートル超ファインポリエステルナノファイバー「ナノフロント®」。長繊維構造で織り上げられた繊維の表面積は、従来繊維のなんと数十倍にも達します。そのため吸水性や吸着性、防透性が向上し、生地が肌触りが柔らかく、皮膚への刺激も格段に少なくなりました。

帝人株式会社
高機能繊維事業本部



高分子技術で 繊維の可能性を拡げたい

生活空間をより鮮やかに、より美しく彩る繊維の世界。この分野でもカネカは、世界でも特色ある繊維「カネカロン」を生産しています。国際的な製品としてあらゆる生活シーンで、繊維の可能性を拡げつつけています。



頭髪装飾 (ファッションウィッグ・ドールヘアー)

人毛に似た風合いを生かしてヘアウィッグ、ドールヘアーに広く使われております。



パイル (エコファー・ぬいぐるみ等)

獣毛に似た風合いと難燃性を併せ持つアクリル系繊維です。その優れた機能で、世界市場で圧倒的なシェアを占めています。



難燃・資材 (防護服、産業資材、寝具、インテリア等)

素材として燃えにくい特性を生かして天然素材との組み合わせで防護服用、資材、インテリア等の素材として使われております。



新素材

イオン吸着体、コラーゲン繊維など、革新的な次世代繊維の開発に取り組んでいます。

Kaneka

株式会社 カネカ
カネカロン事業部

www.kaneka.co.jp/branch/fibers/

織 維 学 会 誌

平成 25 年 11 月 第 69 卷 第 11 号 通卷 第 812 号

目 次

繊維と工業(Reviews and News)

- 【時 評】** 被服科学の将来..... 城島栄一郎 … P-365
- 【特 集】** 〈リハビリテーションを支える繊維 1〉
リハビリテーションを支える繊維
— おしゃれ、元気が出る取り組みに向けて — 小野 栄一 … P-366
看護師として障害者の衣料開発に携わって..... 赤川 詠子 … P-371
「国リハコレクション」を通して思うこと — 教育現場で果たすべき役割 —
..... 高見澤ふみ … P-373
障害があってもおしゃれを楽しみたい！
医療現場における機能的でおしゃれな重症心身障害児者の衣類製作の取り組み
..... 林 沙織 … P-377
特定疾患(難病)児及び障がい児における衣料素材の課題と取り組み
— 色素性乾皮症(XP)における、衣服の“機能”と“おしゃれ”の両立に向けて —
..... 加藤 純代・金子 実・川嶋 孝宣 … P-382
車いすで生活する子ども達のための衣料の開発 — 地域連携による取り組み —
..... 島上 祐樹 … P-386
バリアフリー子供服 — 寝たきりの子ども達にも提供できる既製服 — ... 高浦 義子 … P-392
- 【連 載】** 〈文化の伝承—祭り— 8〉
伊予西条のお祭り 佐藤 秀之 … P-396
- 【繊維学会創立70周年記念連載】** 〈技術が支えた日本の繊維産業—生産・販売・商品開発の歩み— 3〉
戦前編Ⅱ、レーヨン工業の発展 松下 義弘 … P-400
- 【レポート】** 平成 25 年度繊維学会秋季研究発表会を無事に終えて 田代 孝二 … P-406

報 文(Original Articles)

- 【一般報文】** Dyeing Performance of Coconut Charcoal Polyester Fabric Dong Xia and Lijing Wang … 205
Improvements in Heat Resistance of Cellulose Fiber by Surface Silylation
..... Ha Si, Haruhiro Ino, Teruo Kimura, and Akihiro Suzuoka … 213
TEMPO 触媒酸化による綿セルロース布の機能化
..... 由井 美也・田中 千晶・磯貝 明 … 222
- 【ノ ー ト】** Saccharification and Ethanol Fermentation for Bioethanol Production from Alkali Pretreated
Cotton Available for Practical Equipment..... Kenji Nakamura and Masaki Takao … 229

Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 69, No. 11 (November 2013)

Contents

[Reviews and News]

〈Foreword〉

The Future of Clothing Science Eiichiro JOJIMA ... P-365

〈Special Issue on Fibers for Rehabilitation 1〉

Fiber for Rehabilitation Uplifts Your Fashion and Invigorates Eiichi ONO ... P-366

Through Developing Fashionable Adaptive Clothing with a Nurse's Eyes Eiko AKAGAWA ... P-371

Ideas from "The National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities"

– A Role to Play in the Field of Education – Fumi TAKAMIZAWA ... P-373

Enjoy Fashion! Report of Making Clothes at National Hospital Organization Nagara Medical
Center for the Children with Special Needs

..... Saori HAYASHI ... P-377

Project to Develop "UV Protective Wear" for the Children with Intractable Disease

..... Sumiyo KATO, Minoru KANEKO, and Takanori KAWASHIMA ... P-382

Development of Garments for Children Who Needs Wheelchair

– Effort within Local Community – Yuki SHIMAKAMI ... P-386

Ready-Made and Barrier-Free Clothes for the Bed-Bound Children Yoshiko TAKAURA ... P-392

〈Series of Cultural Tradition Associated with Festivals 8〉

Festival of IYO SAIJO Hideyuki SATO ... P-396

〈Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

–History of the Production, Sales, and Product Development– 3〉

PREWAR PART, II, Growth of Rayon Industry Yoshihiro MATSUSHITA ... P-400

〈Report〉

Report on the Autumn Meeting 2013 in Nagoya Kohji TASHIRO ... P-406

[Original Articles]

〈Transactions〉

Dyeing Performance of Coconut Charcoal Polyester Fabric Dong XIA and Lijing WANG ... 205

Improvements in Heat Resistance of Cellulose Fiber by Surface Silylation

..... Ha SI, Haruhiro INO, Teruo KIMURA, and Akihiro SUZUOKA ... 213

Functionalization of Cotton Fabrics by TEMPO-Mediated Oxidation

..... Yoshinari YUI, Chiaki TANAKA, and Akira ISOGAI ... 222

〈Note〉

Saccharification and Ethanol Fermentation for Bioethanol Production from Alkali Pretreated

Cotton Available for Practical Equipment..... Kenji NAKAMURA and Masaki TAKAO ... 229

Sen'i Gakkaishi

(*Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan*)

Vol.69 No.11

November 2013

CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

[Transactions]

- Dyeing Performance of Coconut Charcoal Polyester Fabric Dong Xia and Lijing Wang ... 205
- Improvements in Heat Resistance of Cellulose Fiber by Surface Silylation
..... Ha Si, Haruhiro Ino, Teruo Kimura, and Akihiro Suzuoka ... 213
- Functionalization of Cotton Fabrics by TEMPO-Mediated Oxidation
..... Yoshinari Yui, Chiaki Tanaka, and Akira Isogai ... 222

[Note]

- Saccharification and Ethanol Fermentation for Bioethanol Production from Alkali Pretreated
Cotton Available for Practical Equipment Kenji Nakamura and Masaki Takao ... 229

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

投稿時の体裁変更のお知らせ

これまで、投稿していただく際にカメラレディー形式に整えていただくことをお願いして参りましたが、今般印刷システムの見直しにより、カメラレディー形式での投稿は必須ではなくなりました。

テキストデータ、図表データを別々のファイルでご用意いただき、図表の差し込み位置が分かるように本文中に示していただければ、ベタ打ちで投稿いただけます。図、写真は jpeg 形式で、表はテキスト情報が抽出可能な word 等で作成してください。その際本文は A4 判に 10.5 から 12 ポイントのサイズで、改行幅は 1.5 行程度に設定してください。

また、図表のレイアウトや大きさなど著者の体裁上のご希望を予めお伝えいただけ、ページ数の見積もりも可能なため、これまで同様カメラレディー形式に整えていただいても結構です。カメラレディーひな形はホームページからダウンロードしていただけます。

投稿の際の負担を軽減することで、より迅速快適に研究成果をご発表いただけるようになりました。今後とも繊維学会誌への積極的なご投稿をお待ちしております。

報文フォーマット変更のお知らせ

平成 24 年 9 月号より、報文の紙面を下記の様に一部変更させていただきました。

1. 和文、英文とも、Corresponding Author を明示するようにしました。
2. 和文の著者名表示方法を英文に合わせ、所属は 1 ページ目左下に記すようにしました。

なお、学会 HP 掲載のファイルは既に新フォーマットに準拠しています。新規の御投稿にはなるべくこれを利用し、投稿カードと共にメール(hobun-submit@fiber.or.jp)に添付してご投稿ください。また、旧フォーマットで受理された原稿の場合、投稿カードの連絡先に記された方を Corresponding Author とさせていただきます。変更を希望される場合は、proof check の際に変更してください。

「報文」編集委員

Sen' i Gakkaishi, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	鬯谷 要(和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩谷 正俊(東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	河原 豊(群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	木村 邦生(岡山大学大学院) Kunio Kimura	久保野 敦史(静岡大学) Atsushi Kubono
	澤渡 千枝(静岡大学) Chie Sawatari	鋤柄 佐千子(京都工芸繊維大学大学院) Sachiko Sukigara	高寺 政行(信州大学) Masayuki Takatera
	武野 明義(岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙 顯 或(釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡(京都大学) Masatoshi Tosaka
	久田 研次(福井大学大学院) Kenji Hisada	菅 井 清 美(新潟県立大学) Kiyomi Sugai	山 根 秀 樹(京都工芸繊維大学大学院) Hideki Yamane
	吉水 広明(名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu	和田 昌久(東京大学大学院) Masahisa Wada	

The Society of Fiber Science and Technology, Japan (2012&2013)

President T. Hirai (Shinshu University)

Vice-President T. Hori (University of Fukui)

T. Kikutani (Tokyo Institute of Technology)

H. Hoshiro (Kuraray Co.,Ltd)

Member-promoting Officer H. Ogino (Tokyo University of Agriculture&Technology)

Editor "Sen' i to Kogyo" A. Tsuchida (Gifu University)

Treasurers S. Shoda (Tohoku University)

T. Nishimatsu (Shinshu University)

K. Tashiro (Toyota Technological Institute)

K. Miyazaki (University of Fukui)

Y. Tsujii (Kyoto University)

M. Higa (Yamaguchi University)

Planning Officers T. Kanaya (Kyoto University)

Y. Maeda (Toray Industries,inc)

M. Fukui (Asahikasei Fibers Corporation)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
25. 11. 22(金)	第35回関西繊維科学講座“高分子の構造制御が生み出す新しい膜分離”講演と製品展示会(宇治市・京都大学宇治キャンパス)	A8
11. 30(土)	人と人を維(つな)いで50年 フェスタ'13 JTCC 近畿(吹田市・吹田市文化会館メシアター)	A10
11. 30(土)	第23回樟蔭ファッションセミナー(大阪府・大阪樟蔭女子大学 小阪キャンパス円形ホール)	A10
12. 4(水)	Mini Symposium on Polymer Processing, CAE and Rheology-成形加工・CAE・レオロジーに関するミニシンポジウム-(東京都・タワーホール船堀)	A10
12. 4(水), 26. 1. 22(水) 2. 13(木), 3. 5(水)	「科学物質の有害性評価」コース実施要領-初心者のための基礎から学ぶ病理学的評価-(川崎市・かながわサイエンスパーク内講義室)	A10
12. 5(木) 6(金)	第19回アコースティック・エミッション総合コンファレンス(大阪府・関西大学 千里山キャンパス)	A10
12. 9(月)	第51回高分子と水に関する討論会(東京都・東京工業大学西9号館コラボレーションルーム)	A11
12. 12(木)	「元素ブロック」産学官連携シンポジウム(大阪市・(地独)大阪市立工業研究所)	A11
12. 14(土)	繊維学会 第173回被服科学研究委員会(公開)(東京都・実践女子学園生涯学習センター)	A7
12. 19(木)	先端繊維技術講演会-医療分野における機能性繊維材料の展開-(福井市・福井大学アカデミーホール)	A7
12. 20(金)	技術セミナー 先進繊維加工技術開発(東京都・(独)産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館第一会議室)	A11
12. 20(金)	第38回CPD(技術課題)講演会(大阪市・大阪産業創造館5F 研修室B)	A11
12. 21(土)	第40回「感性研究フォーラム」講演会 ファッションに見る感性(神戸市・デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO)	A5
26. 1. 23(木)	世界結晶年(IYCr2014)オープニングシンポジウム(東京都・日本学術会議講堂)	A9
1. 23(木)	2014学術ミキサー(大阪市・大阪市中央公会堂)	A2
1. 27(月) ~31(金)	第16回国際ファッション工科大学連盟(IFFTI)国際会議・年次総会-The Power of Fashion-(東京都・文化学園大学)	A11
6. 11(水) ~13(金)	平成26年度繊維学会年次大会(創立70周年記念大会)研究発表会・ポスター 発表募集(東京都・タワーホール船堀)	A3~4
9. 28(日) ~10. 1(水)	繊維学会創立70周年記念事業 International Symposium on Fiber Science and Technology 2014(ISF2014) 繊維の科学と技術に関する国際シンポジウム2014(東京都・ビッグサイト東京ファッションタウン(TFT)ホール)	A6
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年6月号
	繊維学会定款(平成24年4月1日改訂)	平成24年3月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	訂正・変更届用紙	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年1月1日改訂)	平成25年1月号
	繊維学会入会申込書(正・学生会員用)	平成25年10月号
	繊維学会入会申込書(維持・賛助会員用)	平成25年11月号

「繊維と工業」編集委員

編集委員長	土田 亮(岐阜大学)	出口 潤子(旭化成せんい(株))			
編集副委員長	鬯谷 要(和洋女子大学大学院)	大島 直久(東海染工(株))	金 翼水(信州大学)	澤田 和也(大阪成蹊短期大学)	
編集委員	植野 彰文(KBセーレン(株))	高崎 緑(宮城教育大)	寺本 喜彦(東洋紡(株))	中西 輝薫(エニカトレーディング(株))	
	高瀬 栄一(三菱レイヨン(株))	増田 正人(東レ(株))	村上 泰(信州大学)	八重田 徹(王子ホールディングス(株))	
	西田 幸次(京都大学化学研究所)				
	山田 秀夫(帝人(株))				
顧問	浅井 恒雄(科学技術ジャーナリスト)	浦川 宏(京都工芸繊維大学大学院)			

平成25年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
学術ミキサー	平成26年1月23日(木)	大阪市中央公会堂
学会賞各賞選考委員会	平成26年2月8日(土)	CIC 田町
最新の繊維技術レビュー	平成26年2月(予定)	CIC 田町・国際会館(予定)

平成26年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成26年度年次大会	平成26年6月11日(水)～13日(金)	タワーホール船堀(東京)
創立70周年記念事業 (式典・国際シンポジウム)	平成26年9月28日(日)～10月1日(水)	東京ビッグサイト TFT ホール(東京・有明)

「2014学術ミキサー」のご案内

繊維学会では「2014学術ミキサー」を新年早々に大阪にて開催させて頂くことにいたしました。ご承知のとおり、平成26年9月には繊維学会の「創立70周年記念事業」をビッグサイト東京ファッションタウン(TFTホール)にて開催することになっています。

つきましては、ご厚情を頂いております関西地区の維持・賛助会員企業並びに関連団体の方々に記念事業の内容をご説明するとともに、大学、研究機関の先生方との間で名刺交換、情報交換をしていただきながら、繊維関連の学術と産業について展望したいと存じます。

- 主 催：(一社)繊維学会
 協 賛：(一社)日本繊維機械学会(予定)、(一社)日本繊維製品消費科学会(予定)
 日 時：平成26年1月23日(木)午後
 会 場：大阪市中央公会堂 (大阪市北区中之島1-1-27)
 内 容：講演と名刺交換会ほか
 *講演内容、参加費などについては後日ご案内させていただきます。

繊維学会は、平成25年12月10日に 創立70周年を迎えます。

(一社)繊維学会は、繊維素協会と繊維工業学会が合併して、昭和18年(1943年)12月10日に設立され、平成25年(2013年)12月10日に創立70周年を迎えます。これを記念して、平成26年9月28日(日)から10月1日(水)にかけて次のような記念事業を、会員の皆様の募金を財源の中心にして実施いたします。記念事業の内容の詳細は、今後逐次学会誌でもご案内いたします。

- 英文電子書籍の出版(平成26年9月ごろ)
 - 繊維学会誌 創立70周年記念特集号の発行(平成26年9月)
 - 記念式典・記念講演会・祝賀会
平成26年9月28日(日)
 - ISF2014(International Symposium on Fiber Science and Technology 2014)
(繊維の科学と技術に関する国際シンポジウム2014)(日本化学繊維協会と共催)
平成26年9月28日(日) ウェルカムレセプション
平成26年9月29日(月) 一般セッション、特別セッション
平成26年9月30日(火) 一般セッション、特別セッション
平成26年10月1日(水) 第2回先端繊維素材シンポジウム
一般セッション、特別セッション
 - 新繊維技術展示会(企業・研究機関等の出展) (日本化学繊維協会と共催)
平成26年9月29日(月)～10月1日(水)
 - ファッションショー (文化学園大学と共催)
平成26年9月30日(火)
- 3、4、5、6は、ビッグサイト東京ファッションタウンホール(東京都江東区有明)にて開催。

創立70周年記念事業募金状況の中間報告

(平成25年10月20日現在の寄付金)

寄 付 数	口 数	金 額
個 人	155名	895口
企業・団体	24団体	81口
	179件	

(目標金額 12,000,000円)

平成 26 年度繊維学会年次大会
(創立 70 周年記念大会)
研究発表会・ポスター 発表募集

1. 日 時：平成 26 年 6 月 11 日(水)～13 日(金)
2. 会 場：タワーホール船堀(江戸川区総合区民ホール)
〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1
TEL:03-5676-2211 FAX:03-5676-2501
<http://www.towerhall.jp/>
〈交通〉都営地下鉄新宿線船堀駅下車北口徒歩 30 秒



3. 開催概要

繊維学会は、平成 25 年 12 月に創立 70 周年を迎え、26 年度には様々な記念事業を開催します。それに合わせて本年次大会に創立 70 周年記念企画を準備します。また、創立 70 周年を機に、特に若手研究者の活躍を積極的に支援したく、「若手優秀発表賞」を拡充します。会員の皆様には、最新の研究成果に関する発表と討論の場、ネットワークを広げる場に本年次大会を積極的にご活用ください。

4. 発表分野：プログラム編成にあたり、発表内容を加味して、分野変更や分野統合などを行う可能性があります。予めご了承ください。

- [1. 繊維・高分子材料の創製] 1a 新素材合成、1b 素材変換・化学修飾、1c 無機素材・無機ナノファイバー・有機無機複合素材
- [2. 繊維・高分子材料の機能] 2a オプティクス・フォトニクス、2b エレクトロニクス、2c イオニクス、2d 機能膜の基礎と応用、2e 接着・界面/表面機能、2f 耐熱性・難燃性
- [3. 繊維・高分子材料の物理] 3a 結晶・非晶・高次構造、3b 繊維・フィルムの構造と物性、3c 複合材料の構造と物性
- [4. 成形・加工・紡糸] 4a ナノファイバー、4b 繊維・フィルム、4c 複合材料・多孔体、4d 染色・機能加工
- [5. ソフトマテリアル] 5a 液晶、5b コロイド・ラテックス、5c ゲル・エラストマー、5d ブレンド・マイクロ相分離、5e その他ソフトマテリアル
- [6. 天然繊維・生体高分子] 6a 紙・パルプ、6b 天然材料・ナノファイバー、6c 生分解性材料、6d バイオポリマー、6e バイオマス
- [7. バイオ・メディカルマテリアル] 7a 生体材料・医用高分子材料
- [8. テキスタイルサイエンス] 8a 紡織・テキスタイル工学、8b 消費科学、8c 感性計測・評価
- [9. 感性(特別セッション)] 9a 評価、9b ファッション、9c デザイン、9d マーケティング

5. 研究発表募集部門：次の 2 部門で発表を募集します。

部門 A [口頭発表：一般「A1」または若手「A2」] (討論 5 分を含んで発表時間 20 分)

部門 P [ポスター発表：一般「P1」または若手「P2」]

発表分野について、一般、若手いずれの場合も、部門番号(A1、A2、P1、P2)の後に上記 4 に示した細目セッション番号を連続させて、たとえば「A1-5d」、「P2-6b」のように選択してください。

なお、A2 ならびに P2 は優秀発表賞の審査対象部門で、応募資格は以下のとおりです。優秀発表賞表彰はワインパーティーで行います。

A2：平成 26 年 6 月 1 日現在で 40 歳未満の学会員

P2：平成 25 年 6 月 1 日現在で博士号を持たない 30 歳未満の学会員

6. 発表申込方法と締切期日

発表申込/予稿集原稿はいずれも学会 Web サイト(<http://www.fiber.or.jp>)「繊維学会年次大会」のページで発表1件ごとに登録/投稿していただきます。メール・FAXによる受付は行いません。受付開始～締切は、下記のとおりです。

発表申込：H25.12.9月～H26.1.31(金) 17時

予稿原稿投稿：H26.3.10月～H26.4.4(金) 17時

(注意)締切直前はWEBが込み合いますので、早めの申込を推奨します。また、締切期限を過ぎますと自動的にWEBが閉鎖され、以後は受け付けられなくなります。発表申し込みに関する要望・問い合わせは、学会事務局へお願いします。

7. 発表方法：

口頭発表：液晶プロジェクターが準備されています。パソコンは発表者自身をご持参ください。OHP、スライドを用いる場合は、あらかじめご連絡いただき、OHPないしスライドプロジェクターは発表者自身をご持参ください。

ポスター：縦180cm横120cm高さ190cmのポスターボードに掲示ください。掲示場所が不足する場合は別途ご案内します。

8. その他：不測の事態(インフルエンザ流行等)が生じた場合は、WEB上で告知することをご承知おきください。

ご不明の点は、学会事務局(TEL：03-3441-5627 FAX：03-3441-3260 メール：office@fiber.or.jp)にお問い合わせください。

平成26年度繊維学会年次大会実行委員会

実行委員長：辻井敬亘(京大)

実行副委員長：浦川 宏(京工繊大)、戸木田雅利(東工大)、堀口智之(東レ株)

実行委員：荒木 潤(信州大)、井上真理(神戸大)、井上倫太郎(京大)、木村邦生(岡山大)、久保野敦史(静岡大)、黒子弘道(奈良女子大)、小椎尾謙(長崎大)、澤田和也(大阪成蹊短大)、斉藤 拓(東農工大)、斉藤雅春(KBセーレン株)、榊原圭太(京大)、竹中幹人(京大)、武野明義(岐阜大)、徳山孝子(神戸松蔭女子学院大)、中村寿美(旭化成せんい株)、西尾俊幸(ユニチカ株)、橋本朋子(奈良女子大)、久田研二(福井大)、松葉 豪(山形大)、村瀬浩貴(東洋紡株)、森島一博(帝人株)、山口俊朗(株クラレ)、山根秀樹(京工繊大)、野々村弘人・山本恵美(学会事務局)

第40回「感性研究フォーラム」講演会 ファッションに見る感性

主催：繊維学会 研究委員会「感性研究フォーラム」

協賛：日本繊維機械学会、日本繊維製品消費科学会、日本色彩学会、色材協会、日本家政学会(交渉予定)

日時：平成25年12月21日(土) 13:30~17:00

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO 3F301

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4

アクセス：デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO: <http://kiito.jp/access/>

JR、阪急、阪神線三宮駅より南へ徒歩20分

神戸市営地下鉄海岸線三宮・花時計前駅より徒歩10分

ポートライナー貿易センター駅より徒歩10分

プログラム：

13:30 受付

13:30~13:40 開会挨拶

神戸松蔭女学院大学 徳山孝子

(研究委員会「感性研究フォーラム」委員長)

13:40~14:40 コミュニケーションⅠ(講演)

「ファッション都市・神戸」からの情報発信、そしてこれから

神戸コレクション制作委員会エグゼクティブプロデューサー 高田恵太郎

講演概要：神戸では、昭和48年に神戸商工会議所や神戸市等により、全国に先駆けて「ファッション都市宣言」を行いました。神戸を「ファッション都市」として発展させるため、神戸アパレル、神戸シューズ、真珠、等のファッション産業に限らず、衣・食・住・遊の各分野の新しいライフスタイルであると提案。以降、産民官一体となってファッション都市づくりを進め、今年は、「ファッション都市宣言」40周年となります。2002年8月には、「神戸コレクション」第1回公演が開催され、現在は類似イベントも日本全国で開催され、リアルクローズ・ファッションイベントの先駆けとなっている。しかし、この40年間の時代の変革は激しく、人々のライフスタイルや価値観、そしてファッション業界の変化、IT技術等による情報発信の仕組みも大きく変わっています。これからどの様に変革していくのが良いのでしょうか。

14:40~15:40 コミュニケーションⅡ(講演)

時代を読む感性用語と神戸ファッション

神戸松蔭女学院大学教授 徳山孝子

講演概要：兵庫県芦屋市から雑誌「ファッション」が昭和8年に発行された。雑誌「ファッション」は、毎月発行され、阪神間という土地柄、上流階級あるいは中流階級のご婦人やお嬢様がモデルとなり、ファッションクラブを結成させ、時代の最先端を行くおしゃれでかつ知的な生活を提供した。その中には、外国のファッション情報をいち早く紹介するとともに日本人の体型に合う着こなしについて説明した。その一つが着こなしの褒め言葉「スマートな」という感性用語である。感性用語の使われ方には、「スマートな女性の身だしなみ」や「スマートな婦人」という褒め言葉から「スマートな婦人服」「スマートな水玉」などデザインにもスマートが使われ、さらには「スマートショップ」という店名まで使われはじめた。この時代を表わす貴重な感性用語として注目した。現在は、スマートフォンにスマートグリッド、スマートテレビ、スマート・シティ・スマートコミュニティなどスマートがつく言葉が氾濫している。感性用語には、その時代を読むきっかけがあるのではないだろうか？「スマートな」以外の感性用語も紹介しながら模索したい。

15:40~16:00 休憩

16:00~17:00 コミュニケーションⅢ(パネルディスカッション)

司会 神戸松蔭女学院大学

中村 茂

パネリスト 神戸コレクション制作委員会

高田恵太郎

神戸松蔭女学院大学

徳山 孝子

OPERAPORT

山下 貴弘

その他

定員：60名

参加費：一般3,000円、学生1,000円、研究委員会会員1,000円

申込方法：氏名、所属、連絡先、E-mailを明記の上、下記までFAX、またはE-mailにてお申し込みください。

申込先：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

京都工芸繊維大学 繊維科学センター 感性研究フォーラム事務局 佐藤哲也

TEL/FAX: 075-724-7578 E-mail: tsato@kit.ac.jp

繊維学会創立 70 周年記念事業
International Symposium on Fiber Science and Technology 2014(ISF2014)
繊維の科学と技術に関する国際シンポジウム 2014

開催案内と発表募集

一般社団法人繊維学会では、その創立 70 周年記念事業の一環として、国際会議を開催します。本会議は、繊維の科学と技術に関わる研究者・専門家を世界中から幅広く集めて開催されます。繊維の科学と技術に関する研究は急速に発展しております。繊維やテキスタイルの基礎研究のみならず、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、インフォメーションテクノロジーを始めとする境界領域の研究も繊維科学・技術分野と深い関わりを持っています。この ISF2014 を開催する目的は、当該分野に係る世界中の人々が集い、最新の研究成果を発表し、情報の交換を行う場を提供することにあります。

日本のなかで繊維産業の規模は縮小傾向にあるとはいえ、当該分野の日本の高い技術力、研究開発能力は世界が認めるところであり、本国際会議が世界から大きな注目を集めることに疑問の余地はありません。現在の日本の立ち位置を確認し、将来のさらなる発展に向けた方向性を見出すためにも、また、世界に向けて日本の実力を発信するためにも、ISF2014 の開催は極めて意義深いものと考えられます。

開催地として東京都有明にあるビッグサイト東京ファッションタウンホールを選びました。日本の中心東京で発展を続ける臨海都市での開催も、特に海外からの参加者にとって魅力あるものに違いありません。皆様の積極的な発表申込をお願い致します。

主催：一般社団法人 繊維学会

共催：日本化学繊維協会

協賛：日本繊維機械学会、日本繊維製品消費科学会

日時：平成 26 年 9 月 28 日(日)～10 月 1 日(水)

場所：ビッグサイト東京ファッションタウン(TFT)ホール
〒135-8071 東京都江東区有明 3-6-11

内容：基調講演、招待講演、口頭発表およびポスター発表

一般セッション

G1 Fibers and Polymer Materials

G2 Fiber and Textile Processing

G3 Dyeing, Finishing, Coating and Laminating

G4 Textile Science and Engineering

G5 Fashion and Clothing Science

特別セッション

S1 Advanced Fiber Symposium

S2 Symposium on Dyeing and Finishing of Textiles

S3 Flow & Deformation Induced Polymer Crystallization

S4 Smart Textiles / Nanofibers

S5 Bio-Based and Biomedical Materials

S6 Composites and Industrial Textiles

※詳細については公式ホームページ <http://www.procomu.jp/isf2014> をご覧ください。

重要な締切日*

平成 26 年 1 月 14 日 発表申込・Abstract 提出締切

平成 26 年 4 月 14 日 発表申込受理通知発送

平成 26 年 7 月 14 日 事前参加登録締切

Extended Abstract 提出締切

使用言語：英語

発表申込および Abstract 提出：下記公式ホームページ上から発表申込・提出することができます。

<http://www.procomu.jp/isf2014>

11 月下旬より受付を開始する予定です。

発表申込方法など詳細情報は、ホームページ上に掲載されております。

問合せ先：ご不明の点は、ISF2014 事務局へお問い合わせください。

ISF2014 事務局

E-mail: isf2014@fiber.or.jp

担当：松本 英俊 (ISF2014 Secretary General, 東京工業大学)

山本 恵美 (繊維学会事務局)

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

一般社団法人 繊維学会内

先端繊維技術講演会 — 医療分野における機能性繊維材料の展開 —

平素より福井大学大学院工学研究科附属繊維工業研究センターの活動にご協力いただきありがとうございます。近年、健康長寿社会の実現に向け、iPS細胞や細胞シート等を利用した再生医療技術が進展しており、繊維材料も、細くて長い、軽くて強いなどその特徴を生かして利用されているところです。

このたび、繊維と医療にかかわる分野でご活躍されている方々をお招きしまして、下記のとおり先端繊維技術講演会を開催いたします。是非ご参加くださいますようお願いいたします。

主催：福井大学大学院 工学研究科 附属繊維工業研究センター

共催：(一社)繊維学会北陸支部

日時：平成25年12月19日(木) 15:00～17:15

場所：福井大学アカデミーホール

福井県福井市文京3-9-1(福井大学文京キャンパス内)

プログラム：

- 15:00～15:05 開会挨拶
- 15:05～15:55 「絹構造の徹底解明とそれを生かした絹人工血管等再生医療材料の開発」
東京農工大学 朝倉 哲郎
- 15:55～16:15 「絹100%で編む 小口径人工血管の製品化に向けた取り組み
— 福井から世界へ 繊維会社の挑戦 —」
福井経編興業(株) 高木 義秀
- 16:15～17:15 「再生医療への展開を目指した培養技術と道具の重要性」
大阪大学 紀ノ岡正博

定員：100名

参加費：無 料

参加登録：12月12日(木)までに会社名・所属・氏名・連絡先電話番号、メールアドレスをご記入の上、電子メールまたはFAXで下記にお申し込みください。

申込先：繊維工業研究センター事務 高橋宛 E-mail:tsan@u-fukui.ac.jp、FAX:0776-27-8747

問合せ先：福井大学大学院工学研究科 佐々木 隆

E-mail:sasaki@matse.u-fukui.ac.jp、TEL:0776-27-8791

繊維学会 第173回被服科学研究委員会(公開)

第173回の研究会は、三陽商会の永野孝志氏をお招きして、「メンズテーラードなもの作りについて」をテーマに、下記の通りおこないますので、参加くださいますようお願いいたします。

会員以外の方にも、積極的に参加を呼びかけていただければ幸いです(参加費無料)。

日時：平成25年12月14日(土) 14:00～16:00

場所：実践女子学園生涯学習センター 4階、401番教室

JR中央線日野駅前バスロータリーに隣接しています。

〒191-0061 東京都日野市大坂上1-33-1

TEL:042-589-1212 <http://www.syogai.jissen.ac.jp/>

(日野駅までは新宿より中央線快速で約40分、特別快速で約30分)

講演：「三陽商会のメンズテーラードなもの作りについて」

(株)三陽商会 生産戦略事業部 技術開発ディヴィジョン チーフ 永野孝志氏

尚、委員会終了後、参加者の交流会(16:30-18:30)を予定しています。

会場：麒麟坊(中国家庭料理：JR日野駅徒歩2分)

TEL:042-587-8469 東京都日野市日野本町4-5-5

<http://www.kirinbo.com/about.asp>

会 費：3,000円

*交流会参加の有無も含めて、12月4日までに下記へお申し込みください。

申込&連絡先：実践女子大学 城島栄一郎

〒191-8510 東京都日野市大坂上4-1-1

TEL&FAX:042-585-8897 E-mail:jojima-eiichiro@jissen.ac.jp

第 35 回関西繊維科学講座 “高分子の構造制御が生み出す新しい膜分離” 講演と製品展示会

開催趣旨：

分離技術の一つである膜分離法は、薄膜により溶液中にある分子レベルのナノメートルオーダーから粒子レベルのミクロメートルオーダーの大きさまでの幅広い物質の分離に使われる方法です。大部分の膜分離法に使用される膜は高分子を素材としており、多くの場合、膜素材高分子の溶液の相分離・結晶化などにより多孔体を形成することによって作製されています。これらの分離膜の高機能化においては、膜中における相転移現象の非平衡過程などによる、高度な高分子材料の多孔体などの精密な構造制御が求められています。

本講座では、高分子膜分離技術の第一線で活躍されている先生方をお招きして、高分子膜の構造形成の基礎から膜分離に関する最新的话题をご講演いただきます。さらに各社の出展製品もご覧頂くことによって、高分子の構造制御が生み出す膜分離の将来への展望を見出して頂ければと思っております。

また、本講座において、当支部が選考する「関西繊維科学研究奨励賞」の表彰を行い、気鋭の研究成果を披露いただきます。多数のご参加をお待ちしています。

主催：繊維学会関西支部

協賛：高分子学会、日本繊維製品消費科学会、日本膜学会

日時：平成 25 年 11 月 22 日(金) 9:50~17:00

場所：京都大学宇治キャンパス 化学研究所 共同研究棟 大セミナー室

JR 奈良線または京阪宇治線、黄檗駅から徒歩 5~10 分

http://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/kaken_access.html

プログラム：

1. 講演

- | | |
|---|--------------------|
| ① 10:00~11:00 「高分子表面の構造制御と膜材料への展開」 | 神戸大学 西野 孝 |
| ② 11:00~12:00 「神戸大学先端膜工学センターの取り組みと研究紹介」 | 神戸大学 松山 秀人 |
| ③ 13:00~13:40 「ポリアミド中空糸膜の開発」 | ユニチカ(株) 小野 貴博 |
| ④ 13:40~14:20 「人工腎臓用中空糸膜」 | 東洋紡(株) 香山 晴彦、加藤 典昭 |
| ⑤ 14:20~15:00 「高機能水処理用 PVDF 膜」 | 東レ(株) 小森 研司 |

2. 関西繊維科学研究奨励賞

① 表彰式(15:20~15:30)

② 受賞講演(15:30~17:00)

「環状高分子を構成要素とするトポロジカルブレンド高分子の結晶化制御を鍵とした高性能繊維材料の開発」

岡山大学 山崎 慎一

「中性子反射率による高分子薄膜のガラス転移温度の分布に関する研究」

京都大学 井上倫太郎

「糖質を利用した繊維加工技術に関する研究」

大阪市立工業研究所 大江 猛

3. 製品展示：12:00~13:00 / 15:00~15:20

- ①ポリアミド中空糸膜関連のパネル、サンプル(ユニチカ(株))
- ②人工腎臓用中空糸膜サンプル(東洋紡(株))
- ③PVDF 中空糸膜モジュールのカットサンプル(東レ(株))

4. 交流会：17:00~18:00

簡単な軽食にて、講師を交えた交流会を開催します。会費無料。

参加費：会員外：7,500 円、会員：4,500 円、学生：1,500 円

振込先：京都銀行下鴨支店(142) 普通預金口座 920965

加入者名：繊維学会関西支部(セイイガツカイカンサイシブ)

申込方法：氏名・所属、連絡先(所在地、TEL、FAX、E-mail)を明記の上、下記申込先に FAX、E-mail 又はハガキにてお申し込みください。

参加費振込みに請求書が必要な方は御記入願います。

申込先：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 バイオベースマテリアル学専攻

浦川研究室内 繊維学会関西支部 第 35 回関西繊維科学講座係宛

TEL: 075-724-7567 FAX: 075-724-7564 E-mail: kansai@chem.kit.ac.jp

世界結晶年(IYCr2014)オープニングシンポジウム

主 催：日本学術会議化学委員会 IUCr 分科会、日本学術会議化学委員会・物理学委員会合同結晶学分科会

共 催：世界結晶年日本委員会、日本結晶学会、日本結晶成長学会

賛同学協会：35学協会(平成25年10月1日現在)

日 時：平成26年1月23日(木) 13:00~17:00

場 所：日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)

開催趣旨：2012年7月の国連決議に基づく「世界結晶年」(IYCr2014)のはじまりにあたり、世の中の物質の性質の理解は結晶学の知識の上に成り立ち、学術研究のみならず、ナノテクノロジーからバイオテクノロジーまで産業界の発展を支えている結晶学の重要性を社会にひろく伝える。

プログラム：

13:00~13:15 開会挨拶「世界結晶年2014を迎えて」

日本学術会議連携会員、名城大学大学院理工学研究科教授、

日本結晶年2014日本委員会委員長 飯島 澄男

13:15~13:30 「世界結晶年への期待」

日本学術会議会長、慶應義塾大学大学院政策メディア研究科特別招聘教授 大西 隆

[科学講演]

13:30~14:05 「ヒトの分子レベルからの理解と創薬を目指す結晶学」

日本学術会議第二部会員、名古屋大学細胞生理学センター教授 藤吉 好則

14:05~14:40 「光に応答する分子結晶」

日本学術会議連携会員、立教大学理学部特任教授 入江 正浩

14:40~15:00 休 憩

15:00~15:35 「氷の新しい融け方を発見：ゼロ度以下で現れる2種類の液体について」

北海道大学大学院教授 佐崎 元

15:35~16:10 「地球深部物質の結晶構造」

東京工業大学大学院教授 廣瀬 敬

16:10~16:45 「高温超伝導の発見と結晶学が果たした役割」

日本学術会議連携会員、青山学院大学理工学部教授 秋光 純

16:45~16:55 閉会挨拶

日本学術会議第三部会員、東北大学原子分子材料科学高等研究機構教授 栗原 和枝

参加申し込み：

- ・当日参加も受け付けますが、できる限り事前に参加申し込みをしていただきますようお願い申し上げます。
- ・近日、参加申し込み Web をオープンいたします。
- ・メールによりお申し込みいただく場合は下記にお願いいたします。

世界結晶年実行委員会事務局

E-mail: secretariat(@)iyacr2014.jp

(スパムメール防止のため@を(＠)に変更しております。元に戻してご利用ください。)

〒565-0871 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 竹市未帆

TEL: 06-6879-7410 FAX: 06-6879-7409

人と人を維(つな)いで 50 年 フェスタ'13 JTCC 近畿

主催：日本繊維技術士センター(JTCC)
日時：平成 25 年 11 月 30 日(土) 13:00~17:00
場所：吹田市文化会館メシアター
プログラム：・出展者によるギャラリートーク
・伝統工芸が生み出す、和楽器系
丸三ハシモト(株) 橋本英宗
・アトラクション(歌唱、舞踏)
・京都からアフリカへ(大同マルタコレク
ション秘話) 萩原理一会員、吉岡悠会員
問合せ先：JTCC 本部事務所
FAX:06-6339-0337 E-mail:jtcc@nifty.com

第 23 回樟蔭ファッションセミナー

日時：平成 25 年 11 月 30 日(土) 14:00~16:00
場所：大阪樟蔭女子大学 小阪キャンパス円形ホール
講演：「世界を注目させる日本ファッション」
(公財)京都服装文化研究財団理事/
チーフ・キュレーター 深井晃子
問合せ先：大阪樟蔭女子大学 学芸学部被服学科
樟蔭ファッションセミナー事務局
TEL:06-6723-8227
E-mail:fashionseminar@osaka-shouin.ac.jp

Mini Symposium on Polymer Processing, CAE and Rheology — 成形加工・CAE・レオロジーに関する ミニシンポジウム —

主催：(一社)プラスチック成形加工学会
日時：平成 25 年 12 月 4 日(水)
場所：タワーホール船堀 蓬莱の間
(江戸川区総合区民ホール)
プログラム：
・ Understanding entangled polymer dynamics using
molecular simulations
(分子シミュレーションによるからみ合い高分子のダイ
ナミクスの理解)
Yamagata University Prof. Sathish k. Sukumaran
・ Numerical simulation of processes with transient
contact
(過渡的接触を伴うプロセス(ブロー成形、熱成形)の
数値シミュレーション)
ANSYS Belgium Dr. Benoit Debbaut
・ Advanced CAE Technology in injection Molding and
other Molding Processes
(射出成型ならびに他の成形プロセスの先端 CAE 技術)
Core Tech System, Taiwan ROC Dr. David Hsu

・ Process of Removing Organic Volatiles from Thermo
Sensitive and Highly Viscous Polymers in volume
Kneader Reactors
(高容量ニーダー反応機を用いた熱に敏感で粘度の高
い高分子の脱気プロセス)

List. Switzerland Dr. Daniel Witte

問合せ先：(一社)プラスチック成形加工学会 事務局
〒141-0032 東京都品川区大崎 5-8-5
TEL:03-5436-3822 FAX:03-3779-9698

「科学物質の有害性評価」コース実施要領 — 初心者のための基礎から学ぶ病理学的評価 —

主催：(公財)神奈川科学技術アカデミー
日時：平成 25 年 12 月 4 日(水)、平成 26 年 1 月 22 日(水)
2 月 13 日(木)、3 月 5 日(水) 計 4 日間
場所：かながわサイエンスパーク内講義室
(川崎市高津区坂戸 3-2-1)
プログラム：
第 1 日(12 月 4 日)
オリエンテーションおよび毒性評価の基礎
第 2 日(1 月 22 日) 消化器
第 3 日(2 月 13 日) 肝臓
第 4 日(3 月 5 日) 腎臓・膀胱
問合せ先：公益財団法人 神奈川科学技術アカデミー
教育研修グループ 高木友子
TEL:044-819-2033
E-mail:takagi@newkast.or.jp

第 19 回アコースティック・エミッション 総合コンファレンス

主催：日本非破壊検査協会
日時：平成 25 年 12 月 5 日(木)、6 日(金)
場所：関西大学 千里山キャンパス 第 4 学舎 3 号館
プログラム：
5 日：「腐食・トライボロジー」 4 発表
「特別講演」波動現象を利用した土木と医学の非
破壊検査 関西大学 宇津野秀夫
「基礎特性 1」 4 発表
「基礎特性 2」 4 発表
6 日：「コンクリート・岩石・ヘルスマニタリング」
5 発表
「複合材料・生体材料・植物」 5 発表
「計測・信号処理」 3 発表
「構造診断・光ファイバー計測」 5 発表
問合せ先：一般社団法人 日本非破壊検査協会 学術課
中村
TEL:03-5821-5105 FAX:03-3863-6524
E-mail:nakamura@jsndi.or.jp

第 51 回高分子と水に関する討論会

主催：高分子学会高分子と水・分離に関する研究会
日時：平成 25 年 12 月 9 日(月) 10:00~17:00
場所：東京工業大学西 9 号館コラボレーションルーム

プログラム：

挨拶 高分子と水・分離に関する研究会
運営委員長 吉水広明
「一般研究発表 1」 5 件
「一般ポスター発表」 32 件
「一般研究発表 2」 6 件

表彰

問合せ先：高分子学会
TEL: 03-5540-3771 担当：田中友紀
E-mail: y-tanaka@spsj.or.jp

・先進繊維加工とテキスタイルケミカル
日華化学(株) 松田光夫
・実演：エレクトロスプレー繊維加工装置
愛媛県産業技術研究所 坂本 勝
・紫外線を用いた繊維加工技術開発
産業技術総合研究所 大内秋比古
・電子線照射による繊維材料への機能性付与技術
福井大学大学院 宮崎孝司
・総括 福井大学 堀 照夫
問合せ先：(独)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門
環境分子科学研究グループ 技術セミナー担当
中川美樹
TEL: 029-861-8271
E-mail: mk.nakagawa@aist.go.jp

「元素ブロック」産学官連携シンポジウム

主催：(地独)大阪市立工業研究所
日時：平成 25 年 12 月 12 日(木) 13:00~17:30
場所：(地独)大阪市立工業研究所 大講堂
(大阪市城東区森之宮 1-6-50)

プログラム：

・元素ブロック高分子材料の創出 京都大学 中條善樹
・金属ナノクラスターの構造制御と新分野への展開
山口東京理科大学 戸崎直樹
・企業研究で役に立つ計算科学 京都大学 田中一義
・プリンテッドエレクトロニクスにおける有機 EL 材料
への期待 東京大学 酒井真理
・産業界でのニーズと開発例ークレイハイブリッド材料
を例にしてー 豊田中央研究所 白杵有光

問合せ先：領域事務局 E-mail: office@element-block.org
詳細は、HP をご覧ください
<http://www.omtri.or.jp>

第 38 回 CPD(技術課題)講演会

主催：日本繊維技術士センター
日時：平成 25 年 12 月 20 日(金) 13:30~16:30
場所：大阪産業創造館 5F 研修室 B
(大阪市中央区本町 1-4-5)

プログラム：

・合織を生み・育て・未来を拓く「バイオミメティクス」
JTCC 会員 松本三男
・繊維関連技術の動向と注目技術
JTCC 会員 松尾達樹

問合せ先：日本繊維技術士センター(JTCC)本部事務所
FAX: 06-6339-0337
E-mail: jtcc@nifty.com

第 16 回国際ファッション工科大学連盟 (IFFTI)

国際会議・年次総会

— The Power of Fashion —

主催：国際ファッション工科大学連盟
日時：平成 26 年 1 月 27 日(月)~31 日(金)
場所：文化学園大学(東京都渋谷区代々木 3-22-1)
プログラム：・IFFTI 年次総会・理事会

・基調講演
・総合テーマ「The Power of Fashion」による論文発表
・IFFTI 国際ファッション画コンテスト

問合せ先：文化学園大学 事務局教務部学事課 高野博子
TEL: 03-3299-2067
E-mail: takano@bunka.ac.jp

技術セミナー 先進繊維加工技術開発

主催：(独)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門
日時：平成 25 年 12 月 20 日(金) 13:00~17:25
場所：(独)産業技術総合研究所
臨海副都心センター 別館第一会議室

プログラム：

・エレクトロスプレー法：その繊維加工技術への応用
(独)産業技術総合研究所 脇坂昭弘
・今治タオル産地における繊維染色技術
愛媛県産業技術研究所 檜垣誠司

平成25年度繊維学会各賞授賞候補者募集

当学会では、功績賞、学会賞、技術賞、論文賞、紙・パルプ論文賞を設け、一般会員より広く推薦を求めています。奮ってご推薦または応募ください。なお、論文賞は、一般公募をせず、論文賞選考委員によりその年の本学会誌に投稿された報文から選考されます。

推薦(応募)期限は平成25年12月25日(水)となっていますので、ご注意ください。

推薦書類のフォーム(様式)はホームページの学会賞からダウンロードしてください。詳細につきましては本部までお問い合わせください。

1. 繊維学会功績賞

- ① 対象：年齢満60歳以上の本学会員で繊維学会の発展に顕著な業績をあげた者、または繊維科学あるいは繊維工業の発展に優れた業績をあげた者。
- ② 表彰の件数：5件以内。

2. 繊維学会賞

- ① 対象：授賞年(平成26年)の4月1日において51歳未満の本学会員で、繊維科学について、独創的で優秀な研究を行い、更に研究の発展が期待される研究者。
- ② 表彰の件数：2件以内。

3. 技術賞

- ① 対象：本学会員(維持・賛助会員を含む)で、繊維に関する技術について、優秀な研究、発明または開発を行い、繊維工業の発展に貢献した個人またはグループ。
- ② 表彰の件数：技術部門3件以内、市場部門1件以内。

4. 論文賞

- ① 本学会員で、繊維科学および繊維技術に関し、優秀な研究を行い、その業績をその年の本学会誌(平成25年1月号～12月号)に発表した研究者。
- ② 表彰の件数：3件以内。

5. 紙・パルプ論文賞

- ① 対象：授賞年(平成26年)の4月1日において40歳未満の本学会員で、過去5年間に本学会誌に論文2編以上を発表した新進気鋭の研究者。
- ② 表彰の件数：1件以内。

平成25年度繊維学会繊維科学・技術研究助成募集

当学会では、新進気鋭の研究者の繊維科学・技術の基礎研究に対する助成を行い、基礎研究の振興を図り、若手の人材を育成することを目的に助成申請者を募集します。

募集期間：平成25年10月1日(火)から平成25年12月25日(水)

募集要項：

1. 申請者は、教育機関または研究機関に所属する専任者である本学会員で、授与される年の4月1日において満40歳未満の者。
2. 申請には所定の用紙を用い、次の各項を含むものとする。
 - ア) 研究目的
 - イ) 研究計画：向こう1年間の計画を具体的に記す。
 - ウ) 所属長(学科長・室長など)の推薦
 - エ) 履歴書：一般の履歴書の他、最近5年間の研究論文リストを付す。* 申請用紙の必要な方は、学会事務局までご連絡ください。
3. 研究助成は1件ないし2件を予定。
4. 本研究の報告書を助成期間満了後6カ月以内に提出する。その要旨を「繊維と工業」誌上に発表するものとする。
5. 本研究を公表する際には本研究助成を受けた旨を付記するものとする。
6. 会計報告を所定の用紙にて行うものとする。

選考方法：選考委員による選定を経て、理事会にて決定する。

問合せ先：一般社団法人 繊維学会事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-208

TEL: 03-3441-5627 FAX: 03-3441-3260 E-mail: office@fiber.or.jp